

# 石巻市子どもセンター「らいつ」◀震災後、安心の居場所に

## 「声」を形に 主体性育む

「子どもたちの声を生かす」。子どもの権利を重視する石巻市の子どもまちづくりクラブの活動は、小さな子の目にどう映っていたらだろうか？ 中高生の頃に活動に参加した同市子どもセンター「らいつ」職員の日和さん(27)＝石巻市＝に話を聞いたよ。

(1面に関連記事)

近藤さんが子どもまちづくりクラブに入ったのは2011年11月、石巻市門脇中1年のときです。東日本大震災の津波で自宅が流され、被災した人が入居する「みなし仮設住宅」のアパートで暮らしていました。

放課後に遊んでいた近所の友だちも被災し、離れた場所に建てられたプレハブ仮設住宅などに移り住みました。「友だちと一緒に帰ったり、休みの日に気軽に遊んだりできなかったのがつらかったです」と近藤さんは振り返ります。

子どもまちづくりクラブには月2回のペースで参加。「行けば誰かに会える」という安心感があり、友だちや職員とおしゃべりするだけで気持ちが楽になりました。子どもセンターを建てる際は、



子どもの意見を反映して開放感のある建物になったらいつ＝3月21日、石巻市



子どもまちづくりクラブの活動を振り返る職員の日和さん＝3月21日、石巻市

建築家を交えたワークショップが何度も開かれました。「ぬくもりのある木造の建物がいい」「開放感のある吹き抜けがいい」「開き」。子どものアイデアが次々と計画に盛り込まれ、近藤さんは「話し合ったことが形になり、達成感がありました」と話します。高校卒業後、19歳のときにらいつで働き始めました。今度は子どもたちの意見を聞く番です。「子どもの話を否定しない」「発達段階に応じた言葉遣いで接する」。一つ一つの積み重ねが居心地の良さにつながっていたことを実感しました。

現在、近藤さんが意識しているのは「成功させることが目的ではなく、その過程で子どもたちがどれだけ主体的に取り組めるか」ということです。子どもの頃、自分が笑顔で過ごせたように、子どもたちが伸び伸びと過ごせる居場所づくりに奮闘しています。

◇ 子どもたちは、どう感じているんだろう。子どもまちづくりクラブに参加する石巻市蛇田中1年石森結衣さん(12)に聞いてみると、「らいつは個人の意見を丁寧に受け止めてくれるので、意見も言いやすいです」と答えてくれました。

### 学力UPのキギは国語力!!

河北新報のコラム「河北春秋」を活用した学習法をご紹介します。ベテラン記者が執筆した文章を読むことで、豊かな言葉や表現が身につきます。また旬の話題や時事問題にも強くなります。

#### 河北春秋 3ステップ

##### STEP 1 基礎力アップ 書き写す

「河北春秋」の文字数は約500字。書き写すことで、**作文力**や**読解力**、**漢字力**といった「**国語力**」が向上します。また、分からない単語を調べると**語彙力**もアップします。

##### STEP 2 論説文対策 100字で要約する

「河北春秋」の要約は**論説文対策**にピッタリ。読み解いて分かりやすく伝える文章の練習になります。

##### STEP 3 小説問題対策 自分の意見や感想を書く

自分の考えを**50字以内**で書きましょう。小説問題は文章の行間を読み、自分の考えを制限字数内で簡潔にまとめる練習が役立ちます。

#### チョイ読みで時事力UP

入試では、新聞記事を使った出題が増加傾向。新聞をめぐり「見出しだけ」チェックしましょう。世の中の動きを効率よく知ることができます。

「河北春秋」はここ!

**新聞**を  
活用して  
差をつけよう!

まずは1週間お試ください

ご希望の方に、「河北春秋書き写し1週間お試し版」をお届けします。また、河北新報をお読みでない場合は、新聞も1週間お届けします。右の二次元コードよりお申し込みください。



●ご購入のお申し込みは...

フリーダイヤル

オーク ミナ ヨ ム

0120-09-3746 受付/7:00~19:00



お問い合わせ/河北新報社 販売部 (平日10:00~17:00) TEL.022-211-1302 FAX.022-211-1188

※お申込みいただきました個人情報は、弊社と河北新報販売部で適切に管理し、商品の発送、各種ご連絡・ご案内に利用させていただきます。河北新報社のプライバシーポリシー(個人情報保護方針) <https://np.kahoku.co.jp/privacy.html>をご確認ください。